

特定調達品目検討委員会作業部会における検討状況について

1. 作業部会の開催状況

各作業部会の会合の開催状況（12月22日現在）は、以下のとおりである。なお、第1作業部会から第5作業部会までの品目については、11月20日から12月15日までパブリックコメントにより意見募集を行っており、作業部会は開催していない。

(1) 第6作業部会(資材)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| ○ 第3回作業部会（セメント分科会） | 平成12年11月30日（木） |
| ○ 第4回作業部会（タイル・レガ・ブロック分科会） | 平成12年12月4日（月） |
| ○ 第5回作業部会（木質系資材分科会） | 平成12年12月4日（月） |
| ○ 第6回作業部会（金属系資材分科会） | 平成12年12月5日（火） |
| ○ 第7回作業部会（OAフロア分科会） | 平成12年12月7日（木） |
| ○ 第8回作業部会（樹脂系資材分科会） | 平成12年12月7日（木） |
| ○ 第9回作業部会（塗料分科会） | 平成12年12月8日（金） |
| ○ 第10回作業部会（その他系資材分科会） | 平成12年12月8日（金） |
| ○ 第11回作業部会（電線分科会） | 平成12年12月13日（水） |

(2) 第7作業部会(役務)

- | | |
|------------------|----------------|
| ○ 第3回作業部会（省エネ診断） | 平成12年12月20日（水） |
|------------------|----------------|

2. 作業部会における検討状況

各作業部会における検討状況は、以下のとおりである。

(1) 第6作業部会(資材)

ア. 検討の進め方について

各団体から提案のあった特定調達品目の候補になり得ると考えられる品目を事務局においてとりまとめ、具体的な作業を進めるためのグルーピングを行い、検討を進めることとされた。

イ. 個別の品目及び基準について

セメント分科会

高炉セメント等の他、各団体から提示された検討対象品目等に基づいて議論を行った。その中で、高炉スラグの他フライアッシュ、非鉄金属スラグ等の混合材料についても対象品目に加え、検討する必要があるとの意見が出された。

タイル・レンガ・ブロック分科会

再生材料を用いたタイル等について各団体から提示された検討対象品目等に基づき、再生原料の使用率や各品目の環境配慮情報について議論がなされ、再生材料を用いた軽量骨材について検討する分科会を別途設置すべきである等の意見が出された。

木質系資材分科会

再生木質ボード、木製品について、各団体から提示された検討対象品目等に基づいて再生材料の使用率等各品目の環境配慮情報について議論を行った。

金属系資材分科会

アルミニウム建材、塩ビライニング鋼管、鉄鋼材及び非鉄金属スラグ系資材に関して各団体から提示された検討対象品目等に基づき、各品目の環境配慮情報について議論を行った。

OAフロア分科会

ガラス及びフリーアクセスフロアについて各団体から提示された検討対象品目等に基づき、品目の分類方法等について議論を行った。

樹脂系資材分科会

塩化ビニル、塩ビ管、生分解性プラスチック及びポリスチレン系資材について各団体から提示された検討対象品目等に基づき、品目及びその判断の基準等について議論を行った。

塗料分科会

団体から提示された検討対象品目等に基づき、品目ごとの環境配慮情報について議論を行った。

その他系資材分科会

ガラス、石膏ボード、鉄鋼スラグ及び非鉄金属スラグを使用した資材について、各団体から提示された検討対象品目等に基づき品目ごとの環境配慮情報について議論を行った。

電線分科会

団体から提示された検討対象品目等に基づき、電線の被覆材に関する基準の設定等について議論を行った。

(2) 第7作業部会(役務)

省エネ診断役務について、事務局から基準案を提示し、役務の範囲及び目標の設定方法等について検討を行った。